

東京国際芸術祭リージョナルシアター・シリーズ

劇団SKグループ〔札幌〕

『再演A。』

作・演出 すがの公



2006年2月25日(土)～26日(日)

東京芸術劇場小ホール1

カンパニー紹介

1998年北海学園大学演劇研究会在籍中にすがの公を中心として旗揚げ。年3～4本のペースで公演を続け、2005年11月公演『エキセントリックショートケーキ ～あますぎなくておいしい～』を第19.5回公演とし、今回公演『再演A。～キミのなかのボクのこと～』で第20回公演を迎える。劇団SKグループは役者スタッフ18名で構成され「オリジナル脚本演出すがの公作品を上演する事」を目的とし、「札幌若手No.1劇団として名を馳せる事」を目標とする。2005年度より役者は4人(江田由紀浩、小山めぐみ、福村澄江、すがの公)に少数精鋭化され、現在SKGカラーの似合う若手役者を探している。北海道札幌という中途半端で不利な土地より、全日本に通用するエンターテインメントを「芝居は見せ物」という当たり前のスローガンを掲げて追求していきたい。旗揚げ8年目にして初めての「外」公演。

作品概要

2002年第12回公演『A。～きみのうたはぼくのうた～』を大幅に書き直し、『再演A。～キミのなかのボクのこと～』として公演する。解離性同一性障害(多重人格)の主人公の頭の中に生まれた「キミを守るためだけのボク」。「ボク」が消える事が「キミ」を治すための方法だと気付いた時、物語は悲しい結末を迎える。4年前に描ききれなかった暗い側面にもスポットを広げ、なおかつその重いテーマに終始せず、悲恋の物語にも見えるストーリーに笑いをふんだんに織りまぜて魅せる1時間45分。『再演A。～キミのなかのボクのこと～』劇団SKグループが初めて東京に殴り込む。

ボクは、彼女を守るために生まれた

ある女性の記憶。

「ジェイコブは考えました。女の子を治すためにボクは消えなくちゃ。」

一人はあまりに寂しいから、彼女は彼を生み出した。それが始まり。

彼女に力が足りないなら、ボクが代わりにどんな物だって持とう。

彼女が無かった事にしたいなら、ボクが代わりに忘れてあげよう。

ボクの願いは、彼女が元気にいる事だけ。

忘れた記憶だけが頭にこびりついて離れない、あの想い。

想いから始まる忘れたはずの物語。

彼女の中のボクのこと、忘れさせてあげなくちゃ。

「、、、そうして女の子はジェイコブに銃を向け、」

演出意図

札幌という演劇人口の少ない土地ではなるべくわかりやすく、芸術に走らず、笑えて泣けるものを作っていくしかないと考え、作風を変化させてきました。もともと芝居が好きなわけではないので、「脳内世界」「自分探し」という芝居独特のとっつきにくさを排除して物を作ってきたのですが、2002年のあの頃、その類いの物を選んで書かざるを得なくなった『A。』を東京でやってみる事にしまし

た。どれだけ札幌くんだりの芝居が通用するのかわかりませんが、あまりズルい事を考えずに演出とかしてみようと思います。外回り公演をした事の無い劇団なので、海峡ひとつ越えるのがこんなに不利になるとは思いませんでしたから、演出意図なんてのはあってないようなものです、と考えています。すみません、演出意図ってこういう事じゃないですよ。やるだけやって失敗したらまた今度成功するまでやってみようと思っています。劇団SKグループ団長す가의公。

公演概要

『再演 A。』

～キミのなかのボクのこと～

脚本・演出 す가의公

出演

江田由紀浩

福村澄江

小山めぐみ

す가의公

照明 相馬寛之

音響

糸川亜貴(札幌公演)

品田新一(東京公演)

舞台美術 す가의公

小道具 河野かえ

衣装 井嶋麻紀子

宣伝美術 江田由紀浩

SKG STAFF

伊藤梓

上田孝子

加藤久美子

加藤つばさ

佐藤愛実

白鳥有紀

寺西志保

平森楓佳子

本房義信

本間慧

協力 / 劇団イナダ組 TEAM-NACS 小島達子

後援 / 札幌市・札幌市教育委員会 HTB北海道テレビ

企画制作 / SKグループ

チケット料金 (全席自由・日時指定 / 税込)

前売 2300円 / 当日 2500円

日程

2月25日～26日(東京公演)

25土 26日

14:00

19:30

印公演終了後、ポストパフォーマンストークを予定

* 車椅子でお越しのお客様は事前にSKGまでご連絡願います。

* 開場は開演の30分前です。

東京公演

12月25日より

ローソンチケット

Lコード[35842]

1月11日より

チケットぴあ

Pコード[366-215]

問合せ / 0570-02-9999/9966(Pコード)

e+(イープラス)

<http://eee.eplus.co.jp>(パソコン & 携帯)

東京国際芸術祭(TIF)

問合せ / 03-5961-5202

お問い合わせ

劇団SKグループ

090-9434-1105(SKG)

東京国際芸術祭(TIF)

03-5961-5202

<http://tif.anj.or.jp>

SKG.HP

<http://www1.plala.or.jp/skg>